



あなたのワン・プロジェクトを、明るく楽しくサポートします！

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター

Ver.4 第65号

「アイデアのちから」を読みました！



皆さん、お元気でしょうか。10月に入り、涼しくなってきました。年末まで、あっという間でしょうね(笑)。先月はページ数の少ない本をご紹介しました。今月はその反動で、357ページもある分厚い本をご紹介します。「アイデアのちから (日経BP、¥1,760、チップ・ハース、ダン・ハース著 飯岡美紀訳)」です。

今までにアイデアに関する本をたくさん読んでいます。本のやり方を活用して、自分なりにアイデア出しができるようになりました。本書は、製品・サービスに関するアイデア出しではなく、イベントの企画や販促ツールの制作等で、アイデア出しを求められる方に最適です。是非読んでほしいと思います。

本書は6つの原則で構成されています。以下に書いておきますね。

原則1：単純明快である。原則2：意外性がある。原則3：具体的である。原則4：信頼性がある。原則5：感情に訴える。原則6：物語性がある。序章では6つの原則が前振りとして提示され、その後、各章に渡ってそれぞれの原則が事例と共に解説されていきます。内容を少しだけご紹介しましょう！

第二章の「意外性がある」では、「本章では、二つの重要な問題について考える。一つは『どうやって関心をつかむか』という問題、もう一つはそれと同じくらい大切な『どうやって関心をつなぎとめるか』という問題だ。この二つの問題の解決策を理解するには、驚きと興味という二つの基本的感情を理解する必要がある。この二つは、もともと、記憶に焼きつきやすいアイデアに共通する感情だ (P92)」これは重要ですね！

第四章の「信頼性がある」では、シナトラ・テストという言葉が出てきます。「**内在的信頼性を高める三番目の方法は、ある種の事例を用いることだ。それは『シナトラ・テスト』なる試験に合格する事例である。フランク・シナトラの名曲『ニューヨーク・ニューヨーク』で、ニューヨークの街で新たな生活を始める心境を歌った。そのコーラスにこんな一筋がある。『ここでうまくいけば、どこへ行ってもうまくいくさ』シナトラ・テストに合格する事例とは、それだけでその分野全体に通用する信頼性を確立できるものだ。～中略～ここでうまくいけば、どこでもうまくいく。それがシナトラ・テストだ (P207)**」なるほど～、名古屋で商売が成功すれば、全国でも成功するみたいな感じですね～(笑)。

さらに面白いのは、たくさんのビジネス書の著者である「勝間和代さん」が、本書をとっても気に入っていること。そして、頼まれてもいないのに著作権を持つ出版社に押し掛けて、解説を書いているのです(笑)。**勝間さんも6つの原則をアイデア出しのフレームワークに使っていて、解説の中で使い方を具体的に示してくれています。**有り難いですね。僕の仕事もアイデア出しが求められることが多いので、これから6つの原則を使っていきたいと思います。暫くの間、本書を傍らに置いて、繰り返して読んでいきます！

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター編集部

発行人 奥村政治

〒540-0034 大阪市中央区島町2丁目2番3号 サハム天満橋 402

発行日 2020年10月1日

TEL06-6920-3191 Email: info@1project-support.com

<https://1project-support.com>

FAX06-6920-3192

Copyright 2020 オクムラ経営コンサルティングオフィス all rights reserved